

## もくじ

- ・ やせたメンドリ

# やせたメンドリ

げんさく                      せかい    むかしばなし  
原作：                      世界の昔話

イラスト：    ちひろ

へんしゅう  
編集：                      YellowBirdProject

3

むかし、イタリアのとあるいなかの<sup>まち</sup>町に、一人の<sup>ひとり</sup>  
おばあさんが<sup>す</sup>住んでいました。おばあさんは、  
メンドリを<sup>いちわ</sup>一羽飼って<sup>いえ</sup>いました。おばあさんの家は  
<sup>まず</sup>貧しかったので、メンドリは<sup>まんぞく</sup>あまり満足にエサを  
<sup>あた</sup>与えてもらえず、とてもやせていました。

<sup>なか</sup>お腹をすかせたメンドリは、<sup>しだい</sup>次第に<sup>たまご</sup>卵を<sup>う</sup>産むこと  
もできなくなってきました。そこでメンドリは、<sup>やま</sup>山へ  
<sup>い</sup>行って<sup>さが</sup>エサを探<sup>さ</sup>すことにしました

<sup>はる</sup>ある<sup>ひ</sup>春の日。メンドリは<sup>やま</sup>山へ<sup>む</sup>向かって、とことこと  
<sup>ある</sup>歩いていきました。



メンドリが山のふもとまできた時、突然草むら  
から、一匹のキツネが現れました。

「ほほう、こいつはうまそうなメンドリだ。  
ちよいとやせているが、まあがまんしよう」  
「ああ、キツネさん。私の体を見てください。  
こんなにやせていては、あなたのお腹の足しには  
なりませんよ。これから山に入って、エサをたくさん  
食べて、丸々太って帰ってきますから、どうか今回は  
見逃してください」

「なるほど・・・ちゃんと帰ってくるんだろうな」  
「もちろんです。約束します」

キツネはその言葉を信じて、メンドリを見逃して  
やることにしました。

